

市内漁港の整備と 養殖など有効利用を

若木康夫



登別と鷺別の両漁港における現状の課題と水揚げ高の推移、登別漁港の第一港区の耐震化、衛生管理

の向上を含む今後の整備予定をいただきました。

また、近年の北方系の漁獲魚種の激減や漁業従事者の高齢化、なり手不足など、従来の獲る漁業から、育てる漁業の推進が叫ばれております。本市においてもいぶり中央漁業協同組合で、鷺別漁港内での実験が検討されており、ロープを使ったコンブ養殖の実証試験を軸とした港内静穏域における養殖の可能性についていただきました。

給餌養殖は、種苗と餌の確保が経費の大きな比重を占めます。近年の研究では、ウニはコンブのほかにキャベツも餌として使用でき、かつ実入りも良いといわれています。このことから、近隣自治体で大量に生産されるキャベツの規格外・廃棄品を使ったバフンウニの力コ内養殖の研究など、他地域における先進事例と独自の調査を踏まえ、本市独自の第一次産品の創出を提言しました。

登別温泉のブランドを 守り育てる

辻弘之



民泊所やゲストハウスなどの新規開業が本市においても活発になってきています。治安問題などが

一部で懸念されていますが、定められたルールの中で営業される事業者に対しては、商業育成の観点を持って行政も積極的に力がかかるよう要請しました。特に、観光産業における新たなコンテンツとして意識していくことで、ともに将来に向けた登別のブランドイン

グにかかわる事業者として、育成支援と交流を図っていくべきと提案しました。また、事業所が地域住民にも安心な防火体制を維持するべく、消防が定期的に訪問を行うことになりました。これまで国内外宿泊者の統計に民泊ゲストハウスなどが含まれていないことから、平成30年度統計データから集計に加えられます。

さらに、近隣自治体の民泊所で登別温泉の名称が使用されており、広告・情報媒体が多様化する中において、登録温泉、鬼花火などの名称を団体商標登録し、ブランドの保全を図ることができないか、関係団体と協議することになりました。

女性の社会参画への 取り組みは

小栗義朗



女性の起業は比較的小規模な事業が多い。内閣府男女共同参画局によれば、全起業家の30%を占

めている。

しかし、どうしたら事業化できるかわからない、経営知識に乏しい、事業に必要な専門知識や技術に乏しいといった課題もある。本市の女性の起業創業などを支援する取り組みは。

〔答〕平成29年度から創業者の掘り起こしを行う創業セミナーや、経営・財務・人材育成などの知識習得のための創業スクールの開催のほか、相談窓口の設置や創業支援のための補助金を通して、男女にかかわらず支援している。

また、子育て中の女性を対象に、就職支援制度や子育てサポート制度を紹介し、安心して働くことができる環境の整備について周知するなど、仕事と子育ての両立を目指す女性の支援を行っている。

今後も引き続き創業の支援を行いながら女性同士による創業連携ネットワークを形成し、意見交換や情報交換を行いやすい体制を整え女性の創業を促進させていきたい。

さらなる通学路の 安全確保を

米田登美子



通学路の安全確保のため、現状の対応と今後の取り組みの強化は。

〔答〕不審者対策は、緊急時の避難場所となる「こども110番スタディちゃんの家」の設置や、新入学児童には寄贈された携帯用防犯ブザーを配付するほか、安全教室を開催し、安全・防犯意識を保つように努めている。

通学路安全対策は、平成26年度から登別市通学路安全推進協議会を設置し、毎年各学校から危険箇所の報告を受けている。必要に応じて現地確認を行い対策を検討し、関係機関に対応を依頼するなど、各学校の通学路危険箇所の安全対策メニューに搭載の上、進行管理を行っている。

今後の取り組みとしては、関係団体が共通認識を持つことが重要と考えている。緊密な連携に努めるとともに、登下校中の指導については、町内会・PTAボランティアによる登下校の見守り活動で安全性が高まっている。一層の協力が得られるよう学校運営協議会などを通じて、理解を求め安全な環境づくりに努めていく。

そのほかの質問：立地適正化計画策定について

そのほかの質問：公共施設のあり方について 介護予防の取り組みについて

そのほかの質問：アイヌ政策について